

ワスレナグモ *Calommata signata* Karsch

【選定理由】

地中に巣穴を作り、その中に潜む。市街地の民家周辺、神社仏閣、公園、農耕地などに生息していたが、環境破壊等により急速な減少傾向にある。

【形態】

体長雌 15～18mm、雄 6～8mm。雌は全体に褐色で、顎が太く、牙も約 5mm ある。雄は全体に黒色で、4脚が細く、別種のように見える。



日進市箕ノ手, 2012年9月29日, 緒方清人 撮影

【分布の概要】

名古屋市、北名古屋市、日進市、豊明市、岡崎市、豊田市、刈谷市、知立市、安城市などで記録されている。

国内では、本州、四国、九州に分布する(新海ほか, 2018)。

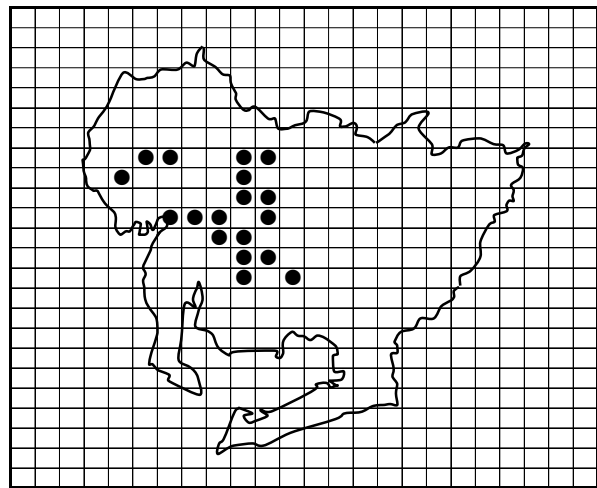
【生息地の環境／生態的特性】

植木の根本、芝生、農耕地など地中に巣穴を掘り、内部を糸で綴った管状の住居を作る。トタテグモ類のように出入口に扉は付けないが、糸で塞ぐこともある。巣穴の入り口付近で等脚類や昆虫などの獲物を待ち伏せる。

【現在の生息状況／減少の要因】

市街地に広く分布するが、巣穴は発見しにくい。土地開発の影響を受けやすく、生息地が急速に消失している。除草剤や農薬の影響も考えられる。

県内分布図



【保全上の留意点】

土木建築による破壊を防ぐことは難しいが、少なくとも除草剤などの使用に際しては、十分な配慮が必要である。

【引用文献】

新海 明・安藤昭久・谷川明男・池田博明・桑田隆生, 2018. CD 日本のクモ. 自刊.

【関連文献】

千国安之輔, 1989. 写真日本クモ類大図鑑. pp.20,164. 偕成社, 東京.

八木沼健夫, 1986. 原色日本クモ類図鑑. p.3. 保育社, 大阪.

新海栄一, 2006. 日本のクモ. p.25. 文一総合出版, 東京.

小野展嗣編著, 2009. 日本産クモ類, pp.86,597. 東海大学出版会, 神奈川.

小野展嗣・緒方清人, 2018. 日本産クモ類 生態図鑑, pp.31,481. 東海大学出版会部, 神奈川.

(緒方清人)